

『減災グッズ展2013』
「0次の備え」携帯し持ち歩く減災用品

X-GLOOが減災用品として展示紹介されました。


減災グッズ展2013
「0次の備え」
携帯し持ち歩く減災用品



 阪神・淡路大震災記念
人と防災未来センター



平成25年1月29日～2月18日期间
<http://hitobou.com/goods/>

実施日 : 平成25年1月29日～2月18日
実施場所 : 阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター(神戸師中央区)

訓練概要

阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センターが主催する『減災グッズ展2013』が開催された。コンセプトは「0次の備え」。「1次の備え」では災害時に必要な非常用備品を家庭で備えること。「2次の備え」は被災後の生き延びる為の生命備品を備える事とされ、今回の「0次の備え」は持ち歩ける減災グッズという発想で一般公募され、適正と判断された商品が展示された。

テントであるX-GLOOは「2次の備え」に該当するが、持ち歩けるという点で参考出品となった。

減災を啓蒙していくセンターの方針に合致した商品という評価であった。

展示会場では他の携帯用品に並び、テントを実演設置、収納例として専用のバックパックも展示している。

展示はセンターのスタッフが実際に完成させて行った。正規のクイックガイドを参考に完成と収納を体験頂き、「本当に簡単で早く完成しました。」と感想を頂きました。

センター内の各テーマコーナーでは災害に関する様々なことが学べ、体験できます。特に、阪神・淡路大震災の災害時の映像は強い印象を受けます。救助活動をする方々にとって使いやすいものであり、活用する方々にとって便利で役に立つものとしてX-GLOOが存在できれば良いと思います。

参加団体・企業20社各社2種類品の限定出展
2月2日(土)公開プレゼンテーションが行われ、
一般を含め約60名の参加した。
会期中はのべ30,000人来館予定。

阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター

阪神・淡路大震災の経験と教訓を未来に伝え、防災・減災社会の実現のために必要な知恵を学ぶ事ができる施設。館内では展示や資料、映像や震災体験者からの話から、一人ひとりが災害に対する正しい知識を身につけることができる。年間50万人来館。



実施写真



実施写真

